

みよちゃん

「みよちゃん」は皆様の社協会費、共同募金で発行されています



獅子は今日 悪魔を祓うとなあ...

塩野区

塩野区では新春一月二日、獅子舞を実施。昨年はコロナ禍で中止を余儀なくされましたが、今年は新たな「やり方」を模索し、できました。

例年、小学校高学年と中学生を二組に分け、約百八十戸の家を回っていましたが、当区でも子どもが減り、社会情勢の変化等で家の中で舞うことも難しくなっていました。本年もこれまでのやり方では実施困難な状況にありました。そこで個々の家ではなく、区内四ヶ所で舞い、そこに区民の皆さんに集まっていた方法を採用。初めてチラシも作成して全戸に配布、当日は太鼓や音楽も流しながら周知しました。参加メンバー全員が大通りを移動しながらのパレードになりました。

人が集まるか心配でしたが、多くの区民に寄っていただきました。大勢の中で二頭の獅子が舞い、区民も新年のあいさつを交わし、久々の顔合わせしていました。獅子と写真を撮り、子どもの「頭をかじる」などこれまでと違う風景が見られました。

「やり方」を変えたことで、準備不足や課題もありますが、多くの参加者や、関係者の協力により無事に、そして賑やかにできたことを喜んでいます。

悪魔と同様に新型コロナも祓われ、感染が終息に向かうことを願わずにいられません。

ベルハート

ハンドベルの演奏を通して、ハートピア内のデイサービスや町内外の福祉施設におじゃまして、演奏やベルを持っていただき、音を出し、優しい曲と一緒に演奏し、交流をしています。

ここ二年はコロナ禍のために、施設の交流はできませんでしたが、いつでも演奏できるように、月2回第2、第4木曜日にハートピアにて練習しています。

ベルハートの仲間募集中！

私達メンバーも高齢化し、人数が足りません。
ハンドベルのやさしいステキな音色を
絶やさないためにも、興味のある方、
おひとりでもお友達同士でも
気軽に見学に来てください。
7～8名募集中です。



連絡先：ハートピアみよた 福祉係 TEL0267-32-1100



若柳会

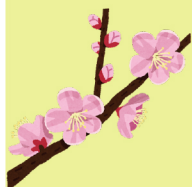
「若柳会」は、若柳昌助師匠を講師にお迎えし、舞踊のおけいこをしている仲間の会です。
会員は県のシニア大学（旧老人大学）佐久学部で舞踊を学んだ仲間などが集まり活動しているグループです。

踊りは、若さと健康を保ちながら社会参加のできる素晴らしい文化であると思います。

お稽古をした踊りを持ち佐久地域のイベント等に参加し活性化に貢献したり、施設や公民館等に訪問し踊りを披露させて頂いたり、参加者と一緒に歌ったり踊ったりまた手話ダンス等で交流を図ると共に、私たちが笑顔や元気を頂いております。

御代田のデイサービス、グループホーム等は何度も声を掛けて頂き、楽しいひと時を過ごすと共に参加者から「また来てね、ありがとう！」の声に励まれ、「お稽古頑張ってまたお邪魔したいね」と、皆で次のステップへと話し合っております。

今はコロナ禍の中でなかなか活動することが難しい時ですが、一日も早く笑顔でお会いでき交流する日を願っております。



御代田町 ボランティア地域活動センター Vol.2

「ボランティアセンター」とは、専門の知識を持った「ボランティアコーディネーター」が、地域の様々なボランティア活動に関する情報の提供や参加の促進、保険の受付など、さまざまな支援を行うところです。

御代田町では「ハートピアみよた」内に設置され皆様の地域での活動を支援していますので、ここでは現在ボランティアセンターに登録し活発に活動している団体を紹介していきます。登録希望団体は、「ハートピアみよた」まで。

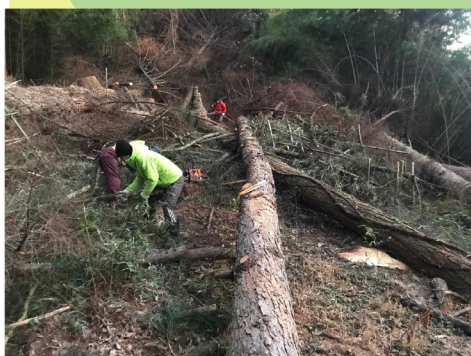
TEL 0267-32-1100 小山岳夫・山田翔太
伊藤智恵子・横谷貴大

おもがえる

朝活(冬季はお休み中)など、面替の里山を整備する活動を日々、コツコツとしています。最初はただ、面替の昔の姿を見たいという思いで始めましたが、自然をより良い姿に手入れをしていく事で、環境が活かされ、人をも活かす事ができると感じるようになりました。

今後は、子ども達や地域の方々が気兼ねなく立ち寄れる場所も育てていきたいと思っています。

問い合わせ先: lifelabo20@gmail.com



幸せぶくろ

私達は、年齢や性別を問わず、一人ひとりの想いややりたい事を大切にイベントや活動を行っております。

昨年11月のエコールみよたで開催の「第一回もったいない市」では、子供達が自分達で楽しい事を考え、お店を切り盛りしていました。

特に活動では、一人ひとりの悩みや病気、仕事、貧困など様々な問題を吐露できる心の置き場を大切にしています。

サークルの代表が難病患者という事もあり、自身も精神的にメンバーに支えられていますが、力が足りない部分は、地域の団体や企業様のお力をお借りしています。

連絡先: shiawase296@gmail.com



フードバンクアクションみよた

もつたないからありがとうへ、が開催されました

ご協力ありがとうございました

十二月十八日（土）に、ハー
トピアみやたエントランスにて、
「フードバンクアクションみよた」
が開催されました。

今回の開催は、寄付をしてい
ただいた食料が実際に誰かの手
に渡るまでの流れを、より多く
の人に知っていただくことが目
的でした。「アクション（行動）」
その願いを表現したもので、こ
の名前の通り、たくさんの方に
認知されたと思います。

開催日前から、町内の企業様
や農家の皆様、地域の皆様に多
くの食品や野菜などのご寄付を
いただきました。中には、各地
区で呼びかけをしてくださった
方もいらしたとお聞きました。
当日もたくさんの方の寄付が持ち
寄られ、これらのご厚意を必要
とする方の手にお渡しすること
ができました。助け合いの輪が
広がっていることに喜びを感じ
ています。ご好意を寄せてくだ

さいました企業や農家の皆様、
そして地域の方々に、心よりお
礼申し上げます。



御代田町社会福祉協議会では、
生活にお困りの方のご相談もお
受けしています。お気軽にご連
絡ください。

ワークショップも大盛況でした

当日は同館内で、今号ボラン
ティア地域活動センターのペー
ジでも紹介しているグループ
「幸せぶくろ」主催のワークショ
ップが開催されました。様々な
年代層の方にクラフト制作など
の体験を通して、楽しいひとと
きを過ごしていただきました。



地域ボランティアサークル【幸せぶくろ】のお楽しみコーナー

常時ご寄付を受け付けています

【ご寄付いただきたい食品】

- 賞味期限が一年以上ある食品
- 未開封のもの
- お米（白米、玄米、アルファ米）
※一年前のものまで可
- パスタ、素麺などの乾麺
- 缶詰、瓶詰、レトルト食品、菓子、
インスタント食品、カップ麺
- 調味料（醤油、食用油、味噌など）
- 生野菜（長期保存可能なもの）

【お引き取りできない食品】

- ×賞味期限が切れている食品
（賞味期限が一ヶ月を切っている食品）
- ×賞味期限が明記されていない食品
- ×開封されているもの
- ×生鮮食品（生肉、魚介類）

▼お問い合わせ

御代田町社会福祉協議会
福祉係 三三ー一〇〇
（平日八時半～一七時半）



フードドライブ受領式

～株式会社啓愛社様よりご協力いただきました～



株式会社啓愛社社長
鶴田 哲也 様

御代田町社協会長
中山 悟

令和4年2月4日（金）ハートピアみよた館内にて、株式会社啓愛社様よりフードドライブでのご寄付をいただきました。

「何か御代田町内への貢献をして、必要な方が喜んでもらえるようにしたい」という啓愛社様の思いから、今回の啓愛社様と同社が経営されているファミリーマートミネバアミツミ前店様からのご寄付に繋がりました。

今回の特徴は、「フードバンクみよた」で不足している食品を町社協からファミリーマートへオーダーできるという、より利便性を重視したフードドライブの仕組みを提案していただいたという事です。こうした活動を通して、食でつながる地域支え合いが着実に広がっていることを実感しています。

そして、今回ご寄付をいただいた食品については、生活にお困りの方や子ども食堂等にお配りし、有効に活用させていただきます。

フードバンク事業は、多くの企業・団体や町内の皆様からのご協力により運営しています。

- 御代田町
- 真言宗智山派 宝珠院
- 西軽井沢物産株式会社
- 塩野中中山間地営農事業組合
- 草越地区
- ミネバアミツミ株式会社
- ミネバアユニオン西軽井沢支局
- 株式会社啓愛社
- 株式会社デルタインターナショナル
- 株式会社桜華

- 御代田町職員労働組合
- NPO 法人街の縁側なから
- くるまや株式会社
- 株式会社高嶺商会
- 社会福祉法人立科町社会福祉協議会
- 社会福祉法人軽井沢町社会福祉協議会
- 農事業組合佐久産直センター
- 千野経営税務事務所
- 御代田町内の皆様

【敬称略・順不同】

第43回 御代田町社会福祉大会

今後における地域づくりのヒント
～ごちゃまぜのコミュニティが生み出す力～

御代田町社会福祉協議会と御代田町共同募金会は、令和3年11月27日(土)、「エコールみよた」で第43回御代田町社会福祉大会を開催させていただきました。本年の社会福祉大会は昨年に引き続き、感染症予防対策として、マスクの着用や手指消毒、社会福祉関係者のみの参集にさせていただきました。

『今後における地域づくりのヒント～ごちゃまぜのコミュニティが生み出す力～』をテーマに石川県にある「社会福祉法人佛子園」理事長の雄谷良成(おおや りょうせい)氏に講演をして頂きました。高齢の方や障害のある方、地域の児童や学生等が、様々な居場所を通して、お互いにつながりを持つことができる仕掛けづくりやコミュニティづくりのヒントをいただきました。講演後のアトラクションでは、御代田町少年少女合唱団「つばさ」の皆様合唱を披露いただきました。最後のクロージングメッセージでは、買い物ウェブシステム「えんじょるの」を運用している「一般社団法人生活互助支援の会」理事 美齊津康弘氏より自身のヤングケアラーの体験談をお話しいただきました。



～講演～
雄谷 良成 氏



～クロージング・メッセージ～
美齊津 康弘 氏

みよた花火

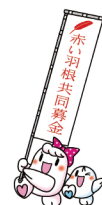
冬の花火で御代田を元気に

御代田町の発展と皆様を元気づける事業を行う有志の会「ユナニマスミヨタ」が、地域サポート応援事業の活用と「ユナニマスミヨタ」の事業に賛同してくださった方々からの寄付金により、令和3年11月27日(土)「みよた花火」を打ち上げました。

「悪霊退散や慰霊を兼ねていく機会とし、こうした取り組みから、御代田町民に元気を発信し、新型コロナウイルスの終息後においても地域づくりに貢献していきたい」というユナニマスミヨタの皆様の思いから、今回のみよた花火が行われました。



上記の2事業は、共同募金配分金を一部当てて行いました。



ご寄付御礼 (令和3年3月～令和3年12月)

・やまいし株式会社 様	10,000 円
・御代田町布ぞうりの会 様	3,200 円
・ミネベアミツミ株式会社 軽井沢工場 様	20,601 円
使い捨て手袋	2,600 枚
・泉 様	クリアファイル 100 枚
・仲 様	1,635 円
・御代田町ゲートボール連盟 様	5,000 円
・御代田町立中学校 様	64,125 円
・佐藤 様	19,354 円
・匿名希望 様	10,000 円

令和3年度 赤い羽根共同募金実績報告について

戸別募金	2,975 件	1,556,261 円
法人募金	99 件	504,000 円
個人大口	368 件	1,042,500 円
学校募金	3 件	21,157 円
職域募金	2 件	112,040 円
その他募金	7 件	183,400 円
合 計	3,454 件	3,419,358 円

皆様の頂いたご厚意は、長野県内及び御代田町の地域福祉、ボランティア活動等に活用いたします。ご協力を頂き、ありがとうございます。

御代田中学校の生徒会より アルミ缶回収収益金の寄付がありました！

御代田中学校生徒会からの寄付金を活用して、リハビリ機器として、ミニバイク、段差昇降ブロック、振動マシンを購入させていただきました。デイサービスに通う利用者さん一人ひとりの運動プログラムの幅が広がり、非常に重宝しています。

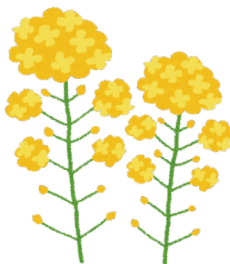


特にミニバイクは、椅子や車椅子に座りながら自転車漕ぎの様な運動ができるため、簡単に足腰の運動が行えます。運動に消極的な方や負荷量が強くて既存の機器は使えないという方でも「やってみようかしら?」「これなら続けられそう!」と気軽に取り組めるので、利用者さんから大人気です。段差昇降ブロックは段差練習用、振動マシンはエクササイズや筋肉のリラクゼーションに使用しています。今後もデイサービスで活躍してくれる期待のアイテムです。本当にありがとうございました。



通所介護事業所 理学療法士 白鳥

社協だより みよちゃん No.94



発行日

令和4年3月10日

発行者

社会福祉法人
御代田町社会福祉協議会

御代田町御代田 1772 番地 1
TEL: 0267-32-1100
FAX: 0267-32-1111

飛松武志

編集後記
思い返せばコロナ禍が始まってはや二年。ソーシャルディスタンスにリモートワーク：あまり聞きなれなかった言葉が身近になり、人々の関わり方にも変化せざるを得ない局面が増えてきました。しかしその結果、新たな発見もあります。今号のトップに掲載した塩野区の獅子舞などもその一つ。実行者皆様で苦慮された結果、戸別訪問ではなく集会形式にしてみたら、区民の新たな新年挨拶と交流の場にもなったとか。やむを得ず変えてみると、良い面もあったのか？先日の新聞には、御代田町は県内でも人口が特に増えており、それも子育て若年層世代が多いとのこと。リモートワークが一般的となり都心にも比較的近く気候や環境も良い「御代田」が選ばれているという事なのか？
諺にも「災い転じて福となす」とありますが、これをチャンスに今までの住民と新しい住民が共に新しい町を創造していけば、この町の将来は面白いものになるのではないのでしょうか。

とうもろこし

発行 御代田町ボランティア地域活動連絡協議会

No.78



寶珠院の除夜の鐘

寶珠院住職 茂木勝澄

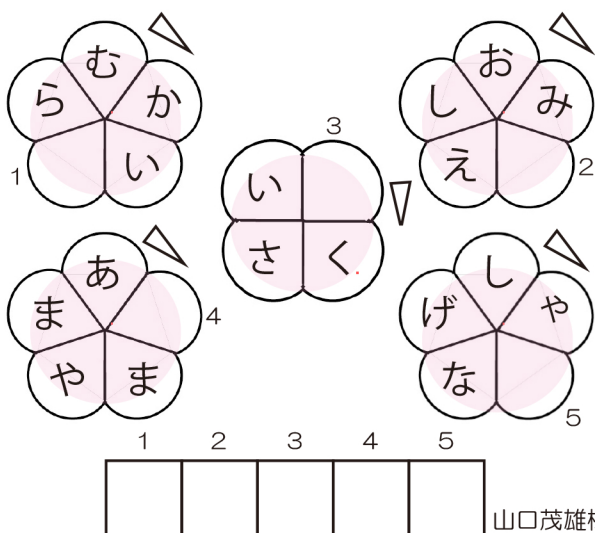
寶珠院では十二月三十一日の大晦日に除夜の鐘を行っております。ここ二年間はコロナ禍で、感染拡大防止の観点から除夜の鐘を中止する寺院もあります。感染症予防の対策を取り、例年通り開催致しました。

除夜の鐘は自身が過ごした一年間を振り返りながら、感謝と反省の意を込めて鐘を撞き、清浄な鐘の音を聞いて身を清めて、さらに護摩の火により煩悩を焼き払い、新しい一年を迎える心の準備をするための行事です。



毎年、年の暮れにお寺の総代世話人様に提灯等の飾り付けの準備をして頂き、当日は、地域に住む皆様に鐘撞きの案内や、本堂内での案内等のお手伝いを頂き、

ひらめいたら空マスの中に一文字入れて、順に読んでみてください。皆さんの願いが、叶いますように！



山口茂雄様作

皆様の力強いお支えの元、除夜の鐘が開催されており、住職として大変心強く感謝深いものです。

皆様のお手伝いを頂きながら、寶珠院が存続する限り、これからも地域の方の過ごした一年間の心の垢を清らかにし、そして来る一年間の家内安全と安寧を祈る除夜の鐘を続けてまいります。

おせち作り

ボランティア結愛の会 関久美子

私達の会では、十二月二十九日の午後から三十日の午前中にかけて、おせちを作っています。

社協の事業のお手伝いという事で、会計は社協にお願いしています。

おせち作りの始まりは、旧福祉センターに社協があった頃、一人暮らし高齢者におせち料理をお届けしたいという声があり、デイサービスや訪問介護の職員さん達が作っていたそうです。

しかし社協がハートピアに移転してからは配食サービスが社協の事業になり、おせち作りまでは手が回らなくなり、ボランティアの皆さんが作るようになったそうです。

「配食やまゆりの会」が平成十八年に解散したので、その後を他のボランティアグループが引き継いだのではないかと思います。

以前は全部手作りでしたが、コロナになり人数制限をしながらなので、買った物も利用しながらおいしいおせちをお届けしています。

